

明治ホールディングス株式会社

2025年7月2日

報道関係者各位

「みんなで減CO2（ゲンコツ）プロジェクト2025」を開始

～エコラベルを探して、脱炭素に配慮した購買行動を考える～

明治ホールディングス株式会社（代表取締役社長 CEO：松田 克也）は、2025年5月から、株式会社日本総合研究所（本社：東京都品川区、代表取締役社長：内川淳、以下「日本総研」）が主催する「チャレンジ・カーボンニュートラル・コンソーシアム（Challenge Carbon Neutral Consortium）」（以下「CCNC」）^{*1}に参画しています。CCNCは、生活者の脱炭素への意識・行動変容を促すことで、企業の脱炭素の取り組みを加速させ、脱炭素社会の構築を目指す協創型コンソーシアムです。

このたび、当社を含むメーカーや小売流通など15社で構成されるCCNCは、2025年7月2日から、生活者の脱炭素行動変容を促進する取り組みとして、「みんなで減CO2（ゲンコツ）プロジェクト2025」（以下「本プロジェクト」）を開始しました。

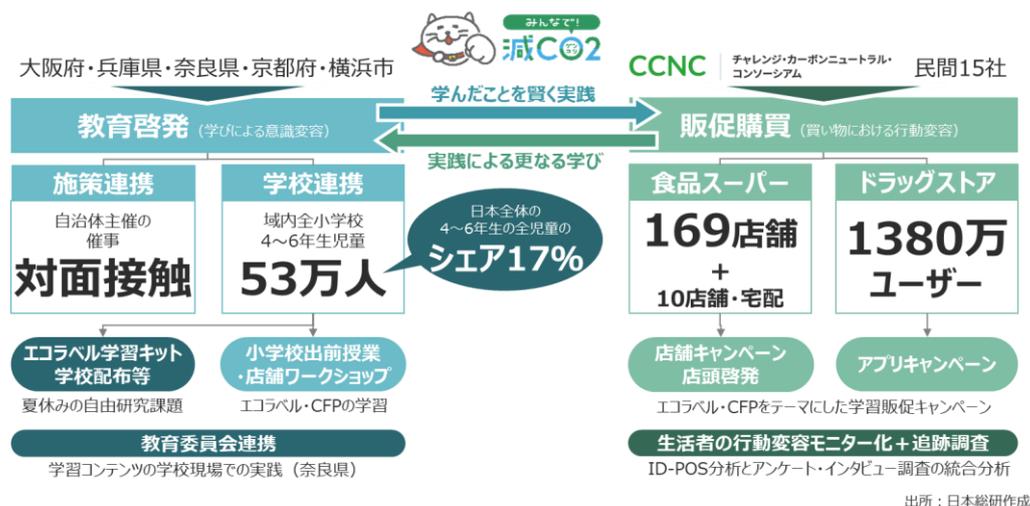
CCNC | チャレンジ・カーボンニュートラル・
コンソーシアム



■本プロジェクトの概要

本プロジェクトは、日本総研が連携する2府2県1政令市（大阪府、兵庫県、奈良県、京都府、横浜市）と協力し、同自治体内の小学校等に通う4～6年生約53万人とその保護者を中心とした生活者に対し、「教育啓発」と「販促購買」を一気通貫で推進することで、脱炭素行動変容を促す取り組みです。

図表：本プロジェクトの全体像



具体的な施策の一つとして、エコラベルやカーボンフットプリント（以下「CFP」）について学べる学習キットと自由研究コンテスト「エコラベルハンター2025」を実施します。児童は、家庭や店舗でのエコラベルやCFPの探索を通じて、楽しみながら環境配慮商品への理解を深めることができます。これに伴い、2025年7月2日より以下の特設サイトが公開されています。

「エコラベルハンター2025」特設ウェブサイト

<https://www.greenmarketing-lab.com/genco2/event/2025ecolabel/index.html>

明治グループは、2019年に明治グループ長期環境ビジョン「Meiji Green Engagement for 2050」を掲げ、2050年までにサプライチェーン全体で温室効果ガスの排出量をゼロにする「カーボンニュートラル」の実現を目指しています。本プロジェクトでは、エコラベル表示商品である「明治おいしい牛乳」「明治北海道十勝カマンベールチーズ切れてるタイプ」「明治ミルクチョコレート」に加え、明治のカカオ農家支援活動「メイジ・カカオ・サポート(MCS)」※2を示す「MCSマーク」を展開し、エコラベルや環境配慮商品の普及啓発を図ります。

今後もCCNC参画企業と連携しながら、生活者の脱炭素や環境配慮に対する理解・共感の醸成を図るとともに、その先の行動変容を促し、自律的な環境配慮商品・脱炭素対応商品の市場創造を目指していきます。

※1 参画企業の一覧や活動内容の詳細は下記URLをご覧ください。

「チャレンジ・カーボンニュートラル・コンソーシアム」特設ウェブサイト

<https://www.greenmarketing-lab.com/ccnc/index.html>

※2「メイジ・カカオ・サポート」は、持続可能なカカオ豆生産を目指して、児童労働や森林減少など、カカオ豆の生産地域や農家が抱える社会課題の解決に取り組む明治のカカオ農家支援活動です。詳細は下記 URL をご覧ください。

<https://www.meiji.com/sustainability/cocoa/>

以上

MOOOOOOORE SUSTAINABILITY は
人・社会・地球の健康の実現に向けた
明治グループのサステナビリティ活動
精神を表しています。

サステナビリティページはこちら↓

<https://www.meiji.com/sustainability/>

**MOOOOOOORE
SUSTA/NAB/LITY**